

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I-1	理念が開設当時に作成されたものであるが、職員全体が、既存の理念を掘り下げて、共有できるまでには至っていない。	職員全員が施設理念を共有し、ケア行動の指針にできるようになる	職員会議にて理念の意義を再確認し、その内容に関する見直しを行う	3ヶ月
2	Ⅲ-35	年2回の防災避難訓練は消防署立ち合いの下に行っているが、地域との連携が不十分なため、地域協力を得て行動できるよう、より有機的な避難誘導を行える体制を整える必要がある。	次回の防災避難訓練を開催するにあたり、地域の地区消防団、派出所警察官、自治会長等の参加が得られる	地区消防団、派出所警察官、自治会長への参加を促す文書を配布する。	6ヶ月
3	Ⅳ-36	一人一人の人格を尊重し、誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応を行うべきであるが、すべての職員がその対応には至っていない	すべての職員が、入居者一人一人のこれまで培ってきた人格を否定しないよう、年配者への敬意を忘れず対応できる	介護接遇マナーに関する毎月資料配布、2か月毎の研修の実施	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。